

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会 基準日	毎年6月 毎年3月31日	電話照会先	フリーダイヤル 0120-782-031 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		

ホームページのご案内

当社のホームページで個人投資家向け説明会と 決算説明動画をご覧ください。

株主や投資家の皆様に当社のことをよりご理解いただくために、個人投資家向け説明会や決算説明動画を配信しています。動画では、業績ハイライト、今後の取り組みや戦略、業績予想のポイントを中心に説明していますので、ぜひご覧ください。

今後も株主・投資家の皆様にタイムリーで分かりやすい情報発信を目指し、IR活動の向上に取り組んでまいります。



個人投資家向け説明会



決算説明動画



<https://www.seikoh-giken.co.jp/irinfo/index.html>



表紙写真コーナー

- 撮影場所／京都地蔵院 ● 撮影者／当社社員 近藤 利憲
「青々とした竹が天高くまっすぐに伸びる姿を撮影しました」



株式会社 精工技研

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台296番地の1
<https://www.seikoh-giken.co.jp>

株主通信



2025年3月期(第53期)事業報告

2024年4月1日～2025年3月31日

特集

社長インタビュー
中期経営計画
「マスタープラン2022」の進捗と
今後の展望について

業績ハイライト

2025年3月期は、過去最高の売上高を記録。
引き続き市場ニーズの把握と技術力の研鑽に努め、
社会の進歩発展に貢献してまいります。

代表取締役社長 上野 淳



2025年3月期の業績について

当期の情報通信関連市場においては、生成AIの普及が加速し、米国の大手IT企業の次世代AIや、中国のスタートアップ企業「DeepSeek」の安価な生成AIの市場投入が話題を集めました。また、データセンターにおける電力消費増大の解決策として「光電融合技術」が注目を浴び、関連企業が技術開発を進めました。自動車関連市場においては、年度前半に認証不正問題が発生し、日系自動車メーカーの生産台数が大きく減少。また、世界で新エネルギー車（NEV）へのシフトが進む中、中国の自動車メーカーが、南米や欧州、アジア地域等で販売シェアを伸ばしました。こうした中で当社グループは、2022年度から取り組み始めた5ヶ年の中期経営計画『マスタープラン2022』に基づき、各施策の遂行に努めました。

「顧客接点の活性化」に向けては、国内外の展示会への出展やホームページの活用、商社や販売代理店との連携等を通じて新しいお客様と出会う機会を数多く作り、商談数を増やすことに注力しました。

「新製品・新技術開発の加速」に向けては、引き続き技術力の研鑽に取り組みました。2024年12月には、当社グループの自動化技術の深耕と開発スピードの向上を図る目的で、当社子会社の杭州精工

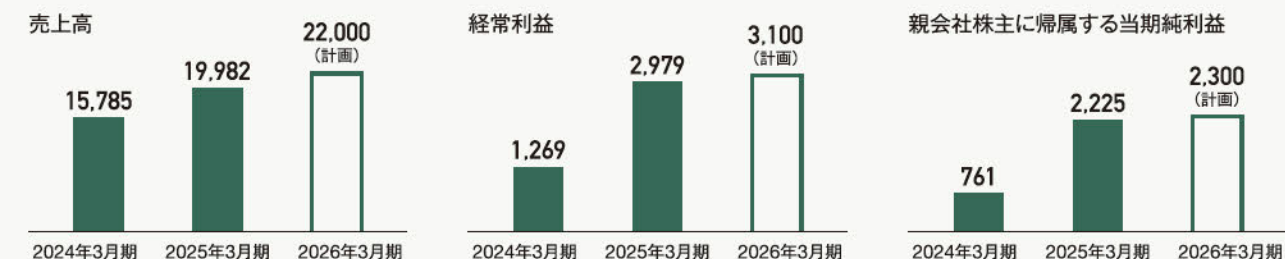
技研有限公司が、主に自動化機器やスマート製造装置の開発・製造を行っている蘇州安准智能装备有限公司に対し出資を行いました。

「ものづくり力の強化」に向けては、自動化を含めた生産体制の強化や仕入先、外注先との関係強化に努めました。2024年10月には、成形品供給ビジネスの拡大を目的に、株式会社エムジーを連結子会社化し、より幅広い射出成形技術と自動成形技術を獲得することができました。

「経営基盤の強化」に向けては、人的資本の強化、温室効果ガスの排出削減活動やペーパーレス化の推進、デジタル化による業務効率の向上等に取り組みました。

こうした諸施策の結果、当期の売上高は過去最高の19,982百万円となりました。営業利益は、材料費や人件費等が増加した一方、高付加価値製品の売上増加により原価率が大きく改善し2,817百万円となり、『マスタープラン2022』で定めた2027年3月期の目標額25億円を2年前倒しで達成しました。経常利益は、投資不動産賃貸料や受取利息等の営業外収益を計上した結果2,979百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,225百万円となりました。

連結損益計算書の概要（単位:百万円）



セグメント別の業績について

● 精機事業

電気自動車の市場拡大を背景に、カーエアコンに搭載されるコンプレッサー用部品やインバーター用部品の売上が増加したものの、国内自動車メーカーの中国市場向けの販売が伸び悩み、各種センサー用部品の売上が減少することとなりました。なお、2024年10月に株式会社エムジーを連結子会社化し当第4四半期より損益に算入しております。開発面では、創業以来培ってきた精密金型技術や射出圧縮成形技術、微細転写技術等を応用し、自動車や医療、バイオ等の産業領域において、お客様と共に新たな精密成形品の量産化に向けた技術課題の解決に取り組みました。これらの結果、当期の精機事業の売上高は9,200百万円と、過去最高となりました。

● 光製品事業

生成AIの普及や5G通信の拡大等を受けて、世界中でデータセンター新設が活況となり、光コネクタ等の光通信用部品需要が増大。光コネクタ製造時に使用する光コネクタ研磨機や検査・測定装置の売上高が大きく増加しました。2024年12月には当社子会社の杭州精工技研有限公司が、中国の光通信用部品メーカー・蘇州安捷讯光电科技股份有限公司と合併で精工迅捷光电有限公司を設立。次世代に向けた光通信用部品を開発、量産化して市場に供給していく計画です。また、一昨年タイに設立したSEIKOH GIKEN (THAILAND) Co.,Ltd.では光コネクタの量産試作を進めており、2025年度より出荷を開始します。日本、中国に次ぐ光通信用部品工場として、お客様にさらに安定供給できる体制を構築します。これらの結果、当期の光製品事業の売上高は10,782百万円と、過去最高となりました。

● 当期より中間配当を実施。

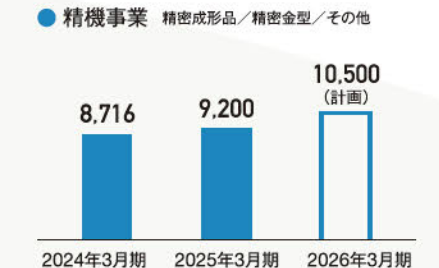
2026年3月期は年間配当75円を計画。

株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、将来の投資に備えるための内部留保を考慮しながらも、配当金の水準を安定的に維持、向上させていくことを株主還元の基本的な方針としております。

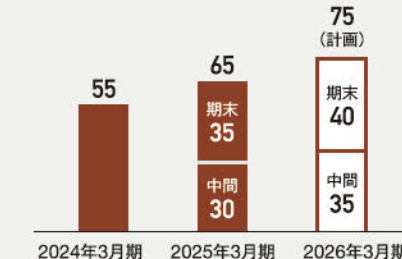
また、株主の皆様への利益還元の機会を充実させるため、当期より中間配当を実施しております。

2026年3月期の1株当たり配当金は、年間で10円増配の75円（中間配当35円、期末配当40円）を計画しております。

売上高の推移（単位:百万円）



一株当たり配当金（単位:円）



中期経営計画「マスタープラン2022」の進捗と今後の展望について

2022年度に策定の5ヶ年の中期経営計画「マスタープラン2022」の着実な遂行により、2025年3月期は、過去最高の売上高を更新。営業利益は、中計目標値を2年前倒しで達成。中計最終年度の2027年3月期に向けて、これまでの進捗状況と今後の取り組みについて、上野社長に伺いました。

代表取締役社長 上野 淳

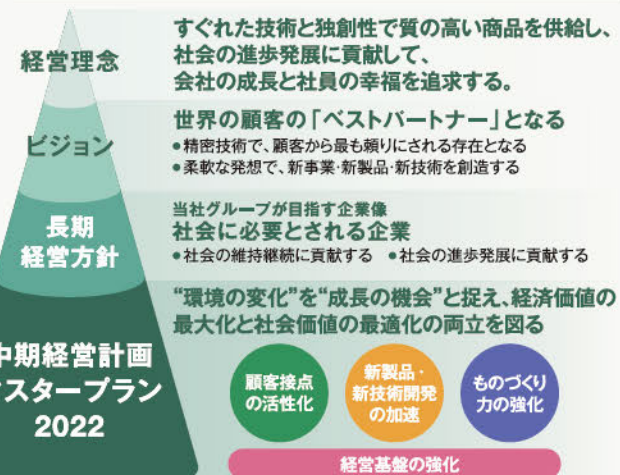
**Q 「マスタープラン2022」について、
本中計遂行に当たっての思いを教えてください。**

**A 市場ニーズを第一に考え、迅速な意思決定により
上方修正した新たな目標の達成を目指します。**

当社グループでは、2022年度より5ヶ年の中期経営計画「マスタープラン2022」を進めています。私は2024年6月に代表取締役社長に就任し、経営理念及びビジョンに基づく4つの基本戦略と数値目標を引き継いで、基本戦略ごとの施策を実行しています。

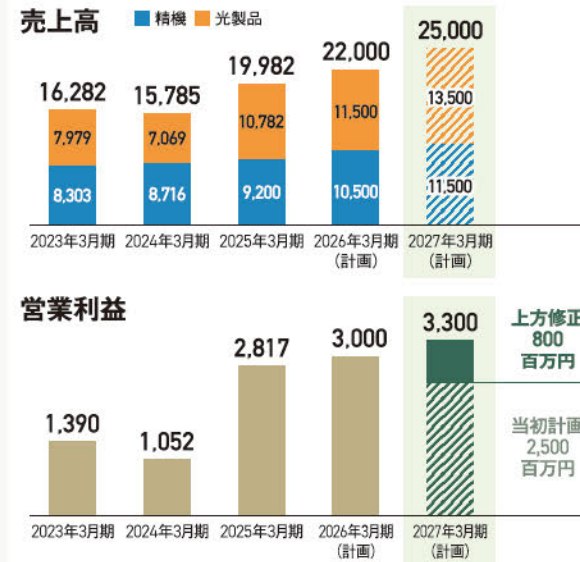
私が重視しているのは「スピード感」と「アンテナ力」です。「スピード感」はお客様のニーズに対するレスポンスと意思決定の速さ。「アンテナ力」は市場の変化を正確に見極める力です。どれだけ優れた製品を開発しても、この2つがなければ成長を遂げることはできません。

マスタープラン2022の基本方針



中期経営計画の策定期間と比較すると、当社グループに求められるレベルはさらに高くなっており、全社的により一層「スピード感」と「アンテナ力」を高める必要があると考えています。当社グループには、ものづくりに対する誠実さを持ち、お客様が抱えている課題を理解して一緒に克服しようとする社員が集まり、その風土が根付いています。この企業文化、姿勢により、国内外を問わず、多くのお客様に当社グループを求めているだけだと自負しております。この当社グループの力の源を活かしながら、当初計画から上方修正した2027年3月期の数値目標達成を目指します。

中計期間の業績推移と計画（単位：百万円）



**Q 光製品事業、精機事業の取り組みと成果について
教えてください。**

**A 両事業ともに、生産面、販売面を一層強化。
展示会出展による顧客接点の創出も大きな成果を
上げています。**

現在、業績を牽引しているのは光製品事業です。その背景には、世界的なデータセンター需要の高まりがあり、販売面では通信トラフィック量の増大に応える省スペース型LCユニバーサルコネクタ「Intellicross® Pro」が好調です。生産面では製造現場の省人化・自動化によって収益力が向上しています。

精機事業では、EV、PHV、FCV向け新規案件の獲得、電子部品を組み込んだモジュール製品の拡販が進んでいます。EV市場は不透明な状況が続いていますが、当社グループの強みであるセンサー関連部品の需要は安定しています。2025年3月期に連結子会社となった株式会社エムジーの射出成形品も医療分野等で安定的な業績を残しています。

光製品事業、精機事業共通の戦略であり、大きな成果を上げている施策としては、顧客接点の活性化を目的とした展示会への出展です。昨年、国内では「JACLaS EXPO」（横浜）をはじめ9つの展示会、海外では世界最大の医療機器展「MEDICA」（ドイツ／デュッセルドルフ）のほか、欧州最大の光通信展示会「ECOC」（ドイツ／フランクフルト）などに出展しました。

お客様が最終製品をイメージできるよう展示手法を工夫した結果、欧州、米国での反響が大きく、なかでも新型の光コネクタ自動研磨装置の知名度は一気に高まりました。展示会は、企画、開発、生産をはじめ、社内のあらゆる部署が同じ方向を向いて取り組むもの。組織の結束力を高めるという意味でも、不可欠な施策と位置付けています。

製品紹介



**Q 目標達成のための今後の取り組みについて
教えてください。**

**A 光製品事業では効率化、精機事業では新技術の開発
を加速。海外のグループ各社とも連携し、目標達成に
邁進します。**

光製品事業については、旺盛な需要が継続していますが、技術革新はこれからも続きます。その波に乗り、光コネクタの製造機器や検査装置の導入がさらに進めば、光コネクタをはじめとする光通信用部品の売上も拡大しますので、中計の残る2年間は極めて重要な期間と考えています。AI・自動化等によって生産効率を向上し、スピード感を持ってニーズに応えていきます。生産面では、2023年にタイ王国に設立したSEIKOH GIKEN（THAILAND）Co., Ltd.において、光通信用部品の量産を開始する予定です。本格稼働後は、ASEAN周辺諸国への拡販体制強化、ASEAN周辺諸国における優良サプライヤーの開拓、次世代の幹部候補となるグローバル人材の採用、育成を進めます。

精機事業では、プレスリリースでも公表しましたが、株式会社東海理化様と共同で開発した「型内塗装技術」を活用したスイッチが、トヨタ自動車株式会社様のハイエースに採用されることとなり、東海理化様において量産をはじめています。これは、車載部品の「成形」「塗装」「乾燥」の工程を金型内で一貫処理する画期的な技術で、生産効率の向上、省スペース化、カーボンニュートラルへの貢献など、大きな効果を生む技術でもあります。今後は、この「型内塗装技術」を自動車以外の市場にも展開してまいります。

生産面では、2025年3月期に、杭州精工技研有限公司が中国企業との共同出資で設立した精工迅捷光电有限公司に生産ラインを立ち上げます。これにより中国での生産力は大幅に高まります。原材料費の高騰や円高傾向など、厳しい状況が続きますが、外部環境の変化に対し、「お客様の課題を解決する」ことを最優先に考え、迅速かつ柔軟に対応していくことが大切だと考えています。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

**A 今後も「社会に必要とされる企業」を目指し、
企業価値向上を実現します。**

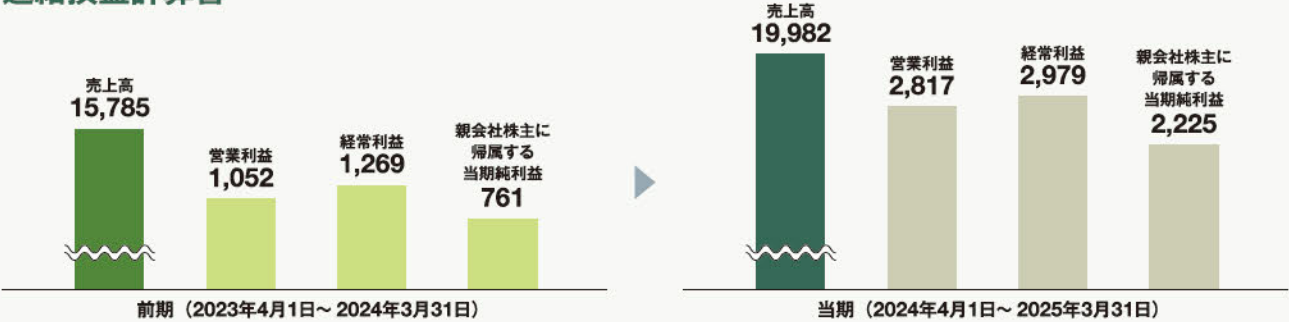
当社グループが開発・生産している製品を株主・投資家の皆様が実際にご覧になる機会は多くありませんが、その技術は間違いなく社会に貢献しており、皆様の生活を支えています。それが、私自身持ち続けてきた誇りです。今後もその誇りを胸に、当社グループのファンの方を増やしていけるよう、中期経営計画の達成に向けて、真面目に、誠実に取り組んでまいりますので、変わらぬご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

連結財務諸表（要約） 単位：百万円、単位未満切り捨て

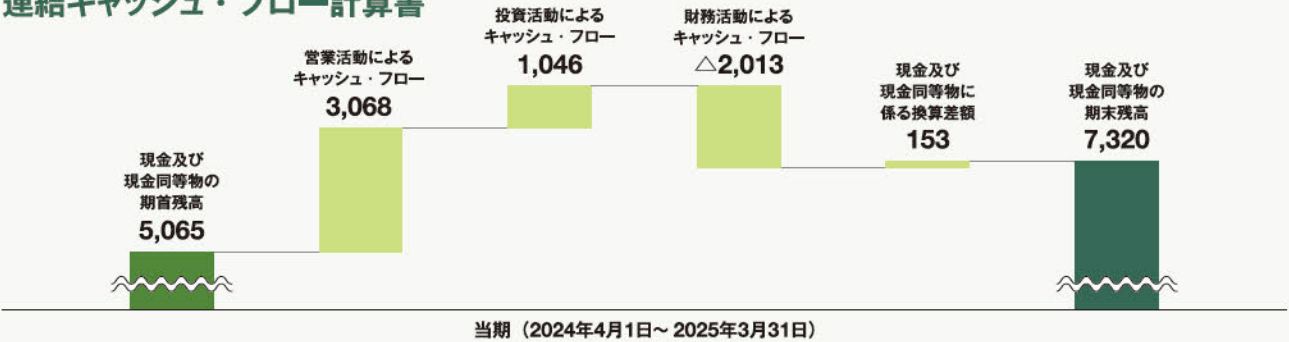
連結貸借対照表



連結損益計算書



連結キャッシュ・フロー計算書



会社情報／株式情報

会社概要（2025年3月31日現在）

会社名	株式会社 精工技研
本社所在地	千葉県松戸市松飛台296番地の1
創業	1972年6月
資本金	6,791,682,700円
事業内容	精機事業 自動車用部品、電子部品等の精密成形品や各種精密金型、精密金属部品等の製造および販売 光製品事業 光通信用設備に用いる光部品や光部品製造機器、光部品形状測定装置、無給電光伝送装置、光電界センサ、高耐熱レンズ等の製造および販売
従業員数	936人
グループ会社	子会社 SEIKOH GIKEN USA, INC. 杭州精工技研有限公司 SEIKOH GIKEN EUROPE GmbH 大連精工技研有限公司 不二電子工業株式会社 DATA-PIXEL SAS SEIKOH GIKEN (THAILAND) Co., Ltd. 株式会社エムジー 関連会社等 浙江精工光电科技有限公司 精工讯捷光电有限公司 蘇州安准智能装备有限公司

役員（2025年6月20日現在）

代表取締役社長	上野 淳
専務取締役	来 関明
取締役	斎藤 祐司
取締役	角野 清行
取締役（社外取締役）	谷田貝 豊彦
取締役（社外取締役）	森川 有理
取締役（監査等委員）	森 保彦
取締役（監査等委員、社外取締役）	相場 俊夫
取締役（監査等委員、社外取締役）	三好 慶

株式の状況（2025年3月31日現在）

発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式の総数	9,333,654株
株主数	4,048名

所有者別株式分布状況（2025年3月31日現在）

